

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	コンビニ（経営者）	・7年に一度しかないこの地方独特の祭りの準備が始まっており、会合や練習など人が集まる機会が増えている。また、卒業、就職、バレンタインデー、ホワイトデーなどイベントがめじろ押しなので、好機が沢山ありそうである。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・2月から新入生の学校指定服の販売が始まるので良くなると思うが、今までの注文状況からすると、昨年は2枚買っていたところが1枚に減っている印象である。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・冬季オリンピックやサッカーワールドカップ等の大きな国際イベントに期待している。
		百貨店（販売促進担当）	・地方ではまだまだ前年比のパーセントは低くなっているが、首都圏ではやや持ち直して、以前のように、80～90%台、もっと細かく言うと93～95%くらいまで数字が上がっている。一番の底は脱したのではないかと推測され、2～3か月先は現状よりやや上向く。
		スーパー（店長）	・このまま客数が伸びてくれれば微増でも良くなる。
		コンビニ（経営者）	・年度が替わり、行事が今よりは多少でも増えれば、客単価が上がるのでやや景気が良くなる。
		衣料品専門店（統括）	・春に向け、客の動きは良くなっていく。当店で取扱商品は祭り用品なので、暖かくなると祭りの参加者が増え、客数、販売量が増えていく。
		乗用車販売店（営業担当）	・エコカー減税の後押しのおかげで、2、3か月先の具体的な商談が出てきている。車の車種等も決まりつつあるので、台数確保に期待したい。
		一般レストラン（経営者）	・メニューの見直しを実施したため、例年より寒い日が多かったにもかかわらず、昨年並みの売上が維持できたことが多少明るい材料である。
		都市型ホテル（支配人）	・高速道路料金引下げ、北関東自動車道延伸による2～3月の梅祭り期間の観梅客に期待している。
		旅行代理店（支店長）	・パンフレットのはげに非常に手ごたえを感じる。成約に結び付かなくても、客が旅行に行こう、行きたいという動きが少しずつ出てきている。これから暖かくなる2～3か月先は良くなると期待している。
		テーマパーク（職員）	・新規展示物の設置等に伴う効果が予測される。
		その他サービス〔フィットネスクラブ〕（マネージャー）	・自動車工業中心の街なので、エコカーの駆け込み需要により企業に追い風がある。また、子ども手当による一時的なお金の流動が予想される。
	設計事務所（所長）	・意欲を持ちつつある客が出てきていることから、ここ数か月のうちに少しは持ち直すのではないと思う。	
	住宅販売会社（経営者）	・住宅版エコポイント制度の普及により、買い控えていた顧客が今を買いどきと考えて動きだしそうである。	
	変わらない	一般小売店〔精肉〕（経営者）	・県内トップの企業で給料をカットする話が出ている。他の企業に順次波及してくるの不安な状態である。
		百貨店（営業担当）	・企業においては若干受注が持ち直し、受注が増えるなど多少持ち直し傾向にあると思うが、個人消費については相変わらず低迷が続いている。まだ毎月前年割れとなっており、これが急に上がるような要素は何一つない。
		百貨店（販売促進担当）	・入進学という行事を迎える最必要期に入っていくが、昨今の景気低迷により消費者の購買に対する慎重さはより一層強くなる。特にアパレルに関しては、たんす在庫で済ませようとする傾向が強くなり、買上にはなかなか繋がらない。
		スーパー（総務担当）	・各種工場が商圏内にあり、製造量も増えて来ているとの情報もあるが、収入増が即小売に結び付く家計状況にはない。
スーパー（経営企画担当）		・消費者物価の下落と競争の激化は今後も続く。	
コンビニ（経営者）		・とにかく静かで深夜に客が来ない。	
コンビニ（経営者）		・今月の景気は底に来ている。今後はそれ以下にはならないと思うので、変わらない。	
コンビニ（店長）		・ここ最近、汚れたお金や記念硬貨が大分入ってきているので、割合厳しいかと思うが、買い控えの様子は見られないので、特別大きく増えることも減ることもなく、変わらない。	
コンビニ（店長）		・周りのショッピングセンター等に客が吸収されてしまったせいも、客の動きはまるでなかったが、近ごろようやく来客数の減少は止まってきた。しかし単価は大幅に落ち込んでおり、これ以上悪化して欲しくないが、良い材料は何も見当たらない状況である。	

衣料品専門店（店長）	・客単価が低い夏物衣料は、数を売らないと売上が取れないが、今後ともこの不況が続けば、生活防衛のために客の買上点数が増加するとは考えられないため、厳しい。
乗用車販売店（営業担当）	・決算期でもあり、補助金効果についても期待していたが、補助金延長の話がこのタイミングで出てしまい、客が買い急がなくなってしまった。
乗用車販売店（販売担当）	・イベントのたびに集客数が少なくなっている。客は何軒か回ってきており、決める際も値引きを求められるので、非常に商談が難しい。また、補助金の延長について決まれば少しは変化があるかもしれないが、大きな流れは変わらない。
住関連専門店（仕入担当）	・単価を下げずに買上点数を上げる策を早急に構築しなければならぬが、具体策が見えない状況である。
住関連専門店（開発業務責任者）	・将来の生活への不安から消費の拡大は望めない状況である。
一般レストラン（経営者）	・業界団体の新年会が続くうえ、春の観光シーズンになるので、順調な売上確保が出来る。
観光型ホテル（営業担当）	・来客数が増えなくても客単価が減っているため、さらに営業努力が必要であるが、客室のリニューアルでもない限り急激な単価アップも不可能である。宿泊、飲食業もデフレスパイラル傾向であり、すぐに景気が上向くような状況ではない。
旅行代理店（副支店長）	・この春先に受注できている旅行は少なく、個人の来客も非常に少ない。また、少しインフルエンザの影響も残ると思われる。この時期は個人旅行が動く時期で、団体旅行は減少するので、この先景気は変わらない。
タクシー運転手	・報道では、景気は緩やかに回復基調とされているが、客の会話を聞くと、相変わらず良い話はない。
通信会社（営業担当）	・店頭に来店し、簡単な見積りを依頼され作成する件数は多くなっているが、更なる低価格を希望するケースが多く、購買に結び付かない状況である。
通信会社（営業担当）	・景気や天候等先行き不安が強く、金は貯めこむ傾向が強い。
ゴルフ場（従業員）	・来場予約は昨年とほぼ同じである。
競輪場（職員）	・他の競輪場の売上も前年度比で10%程度落ち込んでいる。
その他レジャー施設 [アミューズメント] (職員)	・特にゲーム機関係で、単価を下げた商品に対しては客のつきが良い。全体的に見てもデフレ傾向の反映なのか、財布のひもが固くなっており、単価が下がったところに客が来る。客の収入が増加する見通しが立っていないのだと思う。経済活動のスピードが速くなる傾向は見られないので、この状態がしばらく続く。
その他サービス[清掃] (所長)	・給料等の減少傾向が今後も続くと思われるので、消費者は節約する傾向となり生活用品等の支出は抑えられる。
その他サービス[立体 駐車場]（従業員）	・客の様子を見てみると、サービス時間内で上手に買物をし、出庫しているということがうかがえる。来客数は上向きに順調に伸びているが、総売上にそれが響いてこないため、また横ばいが続く。
設計事務所（所長）	・来月は決算イベントを控えているので、なんとか集客できるようにいろいろ考えていきたい。
やや悪くなる	
商店街（代表者）	・給料の手取りが減っているため、余裕を持った金の使い方ができないと言う客が多い。
一般小売店[家電] (経営者)	・卒業、新生活と人の動きも、商品の動きも見えてくる時期だが、その気配が感じられない。至って静かで、いつもならごった返している銀行の人の少なさからは明るい兆しが見えてこない。
一般小売店[乳業] (経営者)	・消費者の閉そく感が続くなか、消費回復の芽が見えない。
百貨店（総務担当）	・企業向けの景気対策が遅れている。日本の平均企業の利益が減少している中で、正社員やパートの減給がなされ、市場の金が動かないので、もっと悪くなる。
百貨店（営業担当）	・店全体では下取りセールをして何とか盛り上げようと努力しており、市はプレミアム付き商品券の発行も行っているが、なかなかこのデフレ状況は厳しい。
スーパー（経営者）	・購買行動に変化は見られない。
スーパー（統括）	・以前のように給料日以降の売上高が増加することもなく、顧客の消費マインドは冷え切ったままであり、復活の兆しが見えてこない。
家電量販店（店長）	・テレビ関係では冬季オリンピックの影響で、レコーダーが良い動きを見せるだろうが、他の商品は依然として厳しい状況下にある。

	乗用車販売店（販売担当）	・これからの時期、新卒者が車を買うという予測は立つが、新聞やラジオで就職がなかなか決まらなるとも聞いているので、新車の販売につながらないと思われるし、中古車もそれほど出ない。景気がもっと良くなれば車も出るが、今は全体的に良くないので、ますます落ち込む。
	高級レストラン（店長）	・成人式以降、街の人出が極端に減少しており、中心街は閑散としている。客は必要な物以外買わず、外出自体を控えている様子が見える。
	一般レストラン（経営者）	・いろいろな業種の方から、非常に悪い、良くなる兆しが全く見えない、という話が聞かれる。消費行動が鈍っているよりは無い状態で、経済は悪くなる一方である。
	スナック（経営者）	・良くなる感じは全く無い。落ちていくだけという印象である。
	都市型ホテル（経営者）	・地域競合店が単価をかなり下げているため、それに伴って当店も単価を下げており、デフレスパイラルに陥っている。今後3か月、厳しい状況が続く。
	都市型ホテル（スタッフ）	・当地域においてはまだ景気は底である。しばらくこういう時期が続くと思うので、じっと我慢の時である。
	都市型ホテル（スタッフ）	・昨年と比べて一向に伸びていない状況である。また、ネット関係は特に安価なプランを数多く出していかないと予約が取れない状況である。ポイントや客に対するメリットに対する競争が激しくなってくる状況が一番心配される。
	遊園地（職員）	・一般家庭の所得減少によるレジャー支出抑制の影響が大きく、消費マインドが冷え込んでいる。もうしばらくは消費単価の大幅な伸びは期待できない。
	ゴルフ場（業務担当）	・今月までは入場者を前年並みに大体確保したが、売上が昨年に届いていない。価格競争の面と客の景気に対する冷え込みの関係か、今月に入って予約関係の取り込みが前年並みまでいかず、不振が続いている。先行きはやや不透明である。
	ゴルフ場（支配人）	・プレー環境も寒さのため大変厳しくなり、客足が極端に落ちる月であるため、ローコスト運営を目指し、出勤調整を続けている。そして3、4月の訪問営業を実施している。
	美容室（経営者）	・デフレ傾向が続く中で、新設店舗が増加しているため、競争になり自然と売上も、固定客も減るという状況である。これから先良くなる兆しが全く見えない状況に陥っている。
	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・最近車検にかかる値段によっては廃車を考える、と相談する客が大勢いる。数か所で見積を取り、一番安い所でやりたいと来社する客も多く、車両走行キロ10万キロ超えの車も普通になっている。
	設計事務所（所長）	・良くなってほしいと期待をしていたが、回りの状態は変わらないどころか悪くなるような雰囲気である。特に、個人住宅の着工意欲が感じられなくなっている。
	住宅販売会社（従業員）	・景気浮揚の期待感がしぼんでいる。政権交代後の経済政策の具体案が出されておらず、高額な消費はますます停滞する。
悪くなる	商店街（代表者）	・家電のエコポイント付与や環境対応車の減税などの取扱い店で売上が上昇しているところもあるが、大半の店は売上が減少している。
	衣料品専門店（販売担当）	・2番底どころの話ではなく、それこそ底なし沼の様相を呈していると感じている。客は先行きが不安で不安で仕方ないので、持っている金は将来のために取っておかないといけないうので使えない、という状況である。店をやめることも視野に入れる必要があるくらい悪い。
	スナック（経営者）	・ともかく先行きが見えないような状態で、多少お金回りのある人ですら財布のひもを締めている。
	タクシー（経営者）	・昼も夜も動きが悪いので、この先も悪い。
	通信会社（経営者）	・まだ底とは思えない程の販売量の低迷が続く。銀行も貸し渋りや貸し剥がしを進めているのが現状で、支払延期もなかなか進めてもらえず、資金繰りさえできないこの状況では数か月先には更にひどい状態になる。
	美容室（経営者）	・客の財布のひもは固く、それだけ生活は緊迫している。食費等はなかなか減らすことができないので美容等へしわ寄せが来ており、利益が出てこなくなっている。
	住宅販売会社（従業員）	・受注残の減少はそのまま収益の低下につながり、極めて厳しい状況となる。
企業動向関連	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・この先3か月の受注量は前年比200%近く伸びている状況で、期間工等の人員の手当てで苦慮している。従業員の採用はしているが、今後不透明な部分もあるため、設備投資については依然として控えめにしている。

	その他製造業〔環境機器〕（経営者）	・納入先からのクチコミも大いに影響している。
やや良くなる	プラスチック製品製造業（経営者）	・自動車部品メーカーだが、最近はハイブリッド車や電気自動車関連の部品が増えてきており、少しは良くなる。
	金属製品製造業（経営者）	・2月より少しだが仕事が増えそうであり、4月にはもっと仕事が出るという明るい見通しがついている。
	一般機械器具製造業（経営者）	・取引先へ年始の挨拶に行った際に、ほぼすべての客先が前向きな話をしており、不透明感がある中でも良い雰囲気が出てきている。中国、東南アジア向けの動きが本格的になると予想し、増産へ向けて手を打ち始める会社も出てきている。
	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・情報化投資の引き合いが多くなってきた。まだまだ厳しい状況が続くと思われるが、少し変化が出てきている。
変わらない	食料品製造業（営業統括）	・酒類販売法の規制緩和により、輸入の低価格ワインが幅広く出回っているため、国産ワインは苦戦を強いられており、今後も厳しい状況が考えられる。
	窯業・土石製品製造業（経営者）	・新製品、新商品の試作等は大分動きがあるが、地元経済の動向に一向に明るい兆しが見えず、全く予想ができない。
	一般機械器具製造業（経営者）	・最盛期に比べて70%減で安定しているものの、いろいろと努力した結果、収支はプラスに転じてきている。現状維持で3月まで続く予定だが、4月以降の見通しが全く立っていない。
	電気機械器具製造業（経営者）	・取引先の営業担当者によると、景気動向が悪く販売が伸びていないとのことである。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	・1月は若干増えたが、2月以降は分からない状況で、2、3か月間は上がったたり下がったりで回復はない。
	輸送業（営業担当）	・新入学、新入社等の新生活商品は、例年通りある程度の物量は確保できるが、低価格志向が強く、単価が低くなる。安価な商品は利幅が低いため、荷主等から運賃値下げ等の交渉があるので先行きに厳しい面がある。
	金融業（総務担当）	・決算に向けて経費面で削減できるところは見直して、出来る限り収益向上に向けて言われており、以前と同様に支出金額については厳しい状況が続く。
	金融業（理事）	・取引先の各製造業種において、受注の回復スピードが鈍くなっている。
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・旅行社の話では、広告を出しても単価の安い商品しか売れないそうで、春の企画商品も出足は鈍いとのことである。
	経営コンサルタント	・業績不振企業の撤退、廃業に拍車がかかり、経営者と従業員の生活を維持することが重大な問題になる。経営革新などに取り組み、新事業に活路を見出しつつある企業も、先行きの景気見通しが不透明なため、思い切った戦略に踏み込めないでいる。
社会保険労務士	・賞与支給を見送った会社が多くあり、残業手当等給与も減っていて、今後給与が急に増える見込みもないため、しばらく厳しい状況が続く。	
やや悪くなる	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・受注量がとにかく減ってきている中で、見積競争が繰り返されており、取れる品物もなかなかないという状況が今後もまだ続きそうである。
	化学工業（経営者）	・定期的に流れている商品に価格値引きの要求が出てきている。出荷量が減って、原価が上がってきている状況であるが、量の確保のため、対応せざるを得ない。
	電気機械器具製造業（経営者）	・通年だと2、3月は年度末の特需が入るが、昨年から今年のはかえって在庫調整という形で2、3月の受注量が相当押さえ込まれている。10～1月と比べて2月の受注量は半分くらいという会社が大分増えているので、2～3月で動向を見て調整することが予測され、落ち込みが激しくなるのではないかと危惧している。
	金融業（経営企画担当）	・観光地では景気回復の遅れから、売上高が3割近く減少しており、シーズンオフでの資金繰りの懸念が見られる。
	金融業（調査担当）	・製造業は輸出が下支えし、緩やかな受注の持ち直しが続くと思われるが、非製造業は所得環境の冷え込みから消費者の支出抑制が続く見通しである。そのため小売、サービス関連業、建設業では先行きをかなり慎重に見ている。
	不動産業（営業担当）	・近隣に新しいホテルができ、需要が増えていないところでの取り合いになるので宿泊部門は悪くなる。賃貸部門は、通常であれば入替えや新入居といった情報が入ってきたり、問い合わせも多くなる時期であるが、問い合わせは少ない状況で、今後悪くなる印象である。

		司法書士	・今後の仕事や、そのための準備が今のところあまり見えていないので、良いところまで行かないのではないかと考えている。
悪くなる		食料品製造業（製造担当）	・具体的な解決策がないまま、周りの企業は売上、利益共に落ち込んでいる状況にあり、食料品も、消費者に価格で厳しくチェックされている。スーパーバイヤーからも競合店同様の価格への値下げ要求がなされ、末端価格を合わせる傾向があり、ほとんど粗利の取れない状況になりつつある。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・どこも価格競争で利益が出ない。動けば動くほど赤字になる。
		電気機械器具製造業（経営者）	・2～4月にかけて、全く仕事の見通しが立っていない。あちこち営業に飛んでいるが、やはり新規に入りこむのは難しい状況が続いている。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・公共工事が一段落し、新年度から新規工事の発注となるが、着工はまだ先である。また、民間の設備投資も非常に少なく、現在より一層厳しい状況になる。
		その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・取引先店舗でも売上を維持するために割安感のあるK10の商品を置くところが多くなっており、K18の商品が後ろに追いやられている。宝飾品としての価値ではなく、見栄えだけ良ければ良いと言った意見もあり、宝飾離れが進んでいる。
		建設業（総務担当）	・国、県の指導で建設業の新分野事業の講習会に参加しているが、具体的になるには時間がかかりそうである。何とか事業を存続させていかなければならない状況は変わらない。
		広告代理店（営業担当）	・金が回っていない。小売や飲食のクライアントは、前年比、2けたマイナスということが珍しくない。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	職業安定所（職員）	・製造業の中の半導体またはデバイス関係の受注が増加していると聞いているので、それらの受注が今後増加していくことがあれば、求人も増加するであろうから、やや良くなる。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・自動車関連の部品や電子関連の組立で動きが出てきたが、一般的にはまだまだ低い水準である。ガソリンの値上がり若干出てきており、運送業界等はかなり影響が続くと見込まれている。住宅関連についてはまだ不透明であるが、動きが出てきそうかなと半分期待を持っている。一般的にはまだ予断を許さない。回復はまだまだである。
		人材派遣会社（社員）	・取引先宿泊施設関係の集客、宿泊稼働率が5～10%下がっている。悪いところはもっと悪いようである。集客改善の見通しの材料がないので、2～3か月先も良くなる要素がない。当社は受注が若干あるため前年より売上がある。
		求人情報誌製作会社（経営者）	・これから春先に向けて、正社員の募集も多くなる時期であるが、今の状況では、募集広告の大きな増加は難しい。
		職業安定所（職員）	・雇用保険受給で訪れる求職者には依然、解雇や人員整理による離職者が目立ち、今のところ大量の離職者発生はないものの、今後も同じような状況が続くと考えられる。
		職業安定所（職員）	・雇用調整助成金の計画件数は、前月同様となっている。一般的に休業人数、休業日は減少傾向であるが、新規助成金申込の企業相談が目立ち始めている。
		民間職業紹介機関（経営者）	・企業業績において、回復基調と低迷状態の格差が一層はつきりしてきた。メーカーにおいて、地域格差があるものの、部品の加工求人が中小零細企業において増加傾向にあり、物が動き始めた兆しも感じられる。
		学校〔専門学校〕（副校長）	・本年度採用のなかったコンピュータ系の企業から次年度の採用枠について情報をもらい、来年度は少し景気が良くなるように感じるが、あくまで昨年、本年の未採用に対する欠員の補充という気がする。もう少し他職種からの求人が出てこないともまだ景気が上がるとは感じられない。
	やや悪くなる	人材派遣会社（管理担当）	・派遣の契約期間が短い。現状2～3か月の契約が一番多い。
悪くなる			